

「岐阜県都市公園活性化基本戦略」の概要

【策定の趣旨】

花フェスタ記念公園(可児市)、養老公園(養老町)、世界淡水魚園(各務原市)、平成記念公園(美濃加茂市)の4つの県営都市公園を対象にそのポテンシャルを最大限に発揮させ、活性化させるための基本戦略を策定

【戦略の期間】平成28年度から平成32年度までの5年間

◎ 県営公園を取り巻く環境

1 本県の人口推移

人口減少問題に立ち向かうため、昨年度、「『清流の国ぎふ』創生総合戦略」を策定し、移住定住の促進、企業誘致や国内外からの観光誘客等の施策を展開

2 本県の観光客の状況

- 本県への観光入込客数(平成27年) 7,140万人(延人数、対前年比5.1%増)
- 外国人宿泊者数(平成27年) 93万人(延人数、対前年比55.7%増)

3 広域交通ネットワークの進展

- 東海環状自動車道西回り区間の開通
- リニア中央新幹線東京・名古屋間の開業

4 公園を取り巻く地域資源

○公園の周辺には「清流長良川の鮎」などの「世界遺産」や関ヶ原古戦場などの数多くの地域資源が存在

◎ 3つの戦略テーマ

各公園が持つポテンシャルを最大限に発揮するため、3つの戦略テーマを設定

1. 観光振興の拠点として、岐阜県の交流人口拡大に貢献する公園

各公園の「地の利」を活かして、県内外さらには海外から観光客を呼び込み、観光振興の一翼を担う

2. 経済活動の活性化、県民活動の充実に貢献する公園

各公園やその立地している地域の強みを伸ばし、産業振興、子育て、教育・文化、健康・スポーツなど経済・県民活動の活性化に貢献

3. 岐阜県のブランド力向上に貢献する公園

「世界遺産」をはじめ地域資源と連携することにより、「清流の国ぎふ」に相応しいブランドの確立に貢献

◎ 6つの取組方針

3つの戦略テーマを実現していくため、6つの取組方針に沿って公園づくりを実施

◇ 地域に愛される公園づくり

◇ 地域資源をつなぐ公園づくり

◇ 四季折々の魅力を持つ公園づくり

◇ 人を育む公園づくり

◇ 地域の振興に資する公園づくり

◇ 多様な主体が参画する公園づくり

◎ 各公園ごとの基本コンセプト

3つの戦略テーマ、6つの取組方針を踏まえ、4公園共通のコンセプトを設定するとともに、各公園の特徴を際立たせるため、各公園の基本コンセプトを設定し、具体的な取組みを推進

4公園共通 「本県の自然、歴史、伝統、文化、匠の技などを、公園を拠点として、「清流の国ぎふ憲章」の「知」・「創」・「伝」に展開し、「清流の国ぎふ回廊」の実現に向けて、各々の公園をみんなで育てます。」

花フェスタ記念公園 「世界に誇るバラ園を中心に花による感動をつたえる」

養老公園 「健康長寿の願いと命への感謝が込められた自然と歴史をたどる」

世界淡水魚園 「川が育む豊かな自然と文化にふれ、生き物に親しむ」

平成記念公園 「人と自然が共生する里山の暮らしと文化に親しむ」

◎ 「清流の国ぎふ回廊づくり」に向けた取組み

以下の3つのステップを戦略的に展開していくことにより、各公園の活性化と「清流の国ぎふ」ブランドの確立に向け好循環を生み出す

ステップ1 各公園ごとの取組みを着実に推進

ステップ2

各流域の地域資源との連携を強化することによりテーマ性、ストーリー性のある誘客プロモーション圏域を形成し、次のような取組みを推進

- 公園の特色と地域の個性に対応した「清流の国ぎふ」の魅力に触れる多様な体験プログラムの提供
- 公園内における地域の観光インフォメーション機能の充実強化
- 周辺の地域資源との相互連携

ステップ3

「清流の国ぎふ」の魅力を感じることができるよう4公園統一のブランドを確立し、国内外に積極的に発信していくため、次のような取組みを推進

- 4公園統一の案内サインの整備、「ミナモ」を活用したシンボルマークの制作
- 多言語ポータルサイトの構築
- 各公園周辺の地域資源の情報を含む公園共通のパンフレットの制作
- 観光誘客施策と一体となった国内外へのプロモーションの展開
- 上記の施策を効果的に推進していくため、県及び関係機関からなる協議会を新たに設置